

サービス評価結果報告書

中津市福祉部介護長寿課 あて

提出日:令和 7年 2月 10日

サービス種別 (該当に○)	定期巡回・随時対応型訪問介護看護			
	○	小規模多機能型居宅介護	○	介護予防小規模多機能型居宅介護
		看護小規模多機能型居宅介護		
		(介護予防)認知症対応型共同生活介護		
事業所番号	4490300235			
事業所名	小規模多機能ホームだいごぼう			
法人名	株式会社サンライズコーポレーション			
代表者名	代表取締役 袖澗 大地			
事業所所在地	(〒871-0151) 大分県中津市大字大悟法 662 番地 1			
担当者名	橋本 潤士			
連絡先	電話	TEL 0979-32-0077	mail	daigobou@juno.ocn.ne.jp
	FAX	FAX 0979-32-0077		

以下のとおり、資料を添えて提出します。

運営推進会議等での評価 実施日	令和 7年 1月 15日
-----------------	--------------

「※要提出」の書類を添付します。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護	
☐ ※要提出	・(別紙1) 自己評価・外部評価 評価表…………… 公表
小規模多機能型居宅介護(介護予防含む)	
	・(別紙2-1) スタッフ個別評価…………… 事業所にて保管
☒ ※要提出	・(別紙2-2) 事業所自己評価…………… 公表
	・(別紙2-3) 地域からの評価…………… 事業所にて保管
☒ ※要提出	・(別紙2-4) サービス評価総括表…………… 公表
看護小規模多機能型居宅介護	
	・(別紙3-1) 従業者等自己評価…………… 事業所にて保管
	・(別紙3-2) 事業所自己評価…………… 事業所にて保管
☐ ※要提出	・(別紙3-3) 運営推進会議における評価…………… 公表
(介護予防)認知症対応型共同生活介護	
☐ ※要提出	・(別紙2-2) 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール…………… 公表

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 12月 16日 (16:30～ 17:30)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	(袖淵代表、袖淵ホーム長、野中) 橋本、尾崎、安田、宮崎、井崎、東山、是恒、橋下、重松 桑津留、矢野、大坪、上羽

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	6人	7人			13人

前回の改善計画	本人様や家族様に安心してもらえるよう、送迎時や電話連絡時に率先して、コミュニケーションを図り関係を築く。 (事業所や自宅での様子を伝えていく)
前回の改善計画に対する取組み結果	・送迎や連絡帳を通して利用状況を伝え、利用者の新しい情報は朝礼や終礼、スタッフ会議を通して情報共有した。 ・個別支援を意識した。 ・利用者の知り得た情報を整理し、職員と共有した。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	9人	4人			13人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	6人	7人			13人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	8人	5人			13人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	6人	7人			13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・家族に会った際には最近の様子を伝える様、意識し行動した。また、連絡帳を通し、状況を伝え関係を築いた。 ・それぞれの専門職と協働し情報共有することで、本人様、家族様へのアドバイスが的確に伝えられ、安心して頂けた。 ・いつもと表情が違う利用者様には率先し声掛け、観察、職員間の情報共有を図った。 ・個別支援を意識し利用者様の理解を深めた。また、何度も話しかけ、安心して過ごして頂く雰囲気を作った。 ・初回利用前にはアセスメントシートを確認し、ある程度イメージし、利用時にはアセスメントシートと照らし合わせ対応した。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・送迎時は家族が家におらず、会う機会が少ない。また、家族に会ったとしても時間をかけて十分に話をする時間がない。 ・利用し始めてはじめてわかる部分があり、手探りで対応することがある。 ・ご家族の思いを充分に聞き出せていないこともある。 ・個別対応に時間をかけると他の利用者様の意向に対して申し送りノート把握していても対応が遅れることがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
(総括) 家族様に会ったとしても時間をかけて十分に話をする時間がなく、家族様との関わりが少ないと感じている職員はいるが、本人様、家族様とコミュニケーションを図りながら、関係は築けている。初回利用に向けて、アセスメントシートを確認し、利用時にはアセスメントシートと照らし合わせながら対応することができたが、情報と違うこともある。アセスメントシートを確認していない職員もいる。 (目標) 利用開始前には利用者様、家族様との情報交換を密に行い、ミーティングにて情報を共有する。 新規利用者情報ファイルを必ず確認する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和 6年 12月 16日 (16:30～ 17:30)
-----	--------------------------------

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー	(袖潤代表、袖潤ホーム長、野中) 橋本、尾崎、安田、宮崎、井崎、東山、是恒、橋下、重松 桑津留、矢野、大坪、上羽
------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	10人			13人

前回の改善計画	生活の中で小さな「～したい」を実現できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・会話の中からしたいことを聞き逃さず、職員同士で共有した。 ・したいことは計画し、実施した。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	4人	8人	1人		13人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	4人	9人			13人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3人	8人	2人		13人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	5人	8人			13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・発した言葉を聞き逃さず、会話の中から身近な「～したい」に関わった。好きな事や、やりたいことを見つけ、次に繋げた。 ・自分の思いを言葉に発せない利用者様には寄り添い思いを傾聴しながら表現できるように心がけた。 ・スタッフ会議で「～したい」についてミーティングで発言、共有し振り返りや次の対応に活かした。 ・願いが実現できた時には共に喜び、利用者様の残存機能を活用し、「～したい」に繋げた。 ・「～したい」希望を探しながら、会話をふくらませた。 ・「～したい」希望を聞き逃さず、実践した。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・時間に追われ、個々の目標を把握しきれていない。また、利用者様のできることを職員がしてしまうことがある。 ・一人の利用者様へ対応している際に、他の利用者からケアを求められた際に待って頂くことがある。 ・最終的なゴールを見つけることが難しい。また、ケアプラン目標について個々のファイルの確認ができていない。 ・ケアプラン目標を確認せず、日々の業務にとらわれすぎる。 ・「～したい」と言うレベルが大きく、叶えることができなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
(総括) 利用者様との関わりの中で感じたこと、本人様にとって良いこと、新しい発見などを朝礼、終礼、スタッフ会議で共有することができた。小さな「～したい」を叶えることで、利用者様の喜び、活き活きとした笑顔に繋がりが事業所としてもやりがいに繋がった。 (目標) 利用者様との関わりから感じたことを、スタッフ全員で共有、望む生活「～したい」を叶える。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 12月 16日 (16:30～ 17:30)
3. 日常生活の支援	メンバー	(袖淵代表、袖淵ホーム長、野中) 橋本、尾崎、安田、宮崎、井崎、東山、是恒、橋下 重松、桑津留、矢野、大坪、上羽

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	11人			13人

前回の改善計画	利用者様やご家族様から以前の暮らし方について情報を得る。また、10 個以上にこだわらず、少しずつ把握する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・支援の中で、体調や気持ちの変化に気付き、電話のやりとりや連絡ノートの活用で家族との連携を図った。 ・日々の関わりの中で、感じたことや思いについて朝礼、終礼、スタッフ会議で情報を発信、共有した。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		7人	6人		13人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	8人	5人			13人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	4人	9人			13人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	11人	2人			13人
⑤ 共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか?	7人	6人			13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・送迎時や入浴時に様子を伺い、利用者様の声を拾い情報を増やした。 ・その日の体調に合わせ、状態を受け止め共有し支援方法を考えた。 ・言葉を発せない利用者様には家族様から情報収集し、職員と共有、再アセスメントした。 ・支援の中で利用者様のライフスタイルや背景を少しずつ引き出し情報を得た。また、利用者様の変化に気づきがあった場合は朝礼、終礼、スタッフ会議で情報を共有した。 ・日頃の表情や行動に気を付け見守り、本人様の気持ちに寄り添った。 ・家族とも連絡ノートを通して、体調の変化の把握に努めた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・以前の暮らし等は10個以上は把握できていない。 ・認知症の利用者様には過去より今の対応を行ってしまう。 ・状態変化により会話がスムーズにできず以前の暮らし方などを聞き出すことが難しい。 ・知り得た情報を口頭で伝えるが、記録をする時、発言者と記録者が異なる場合に情報がずれる場合があり全職員と共有できていない場合がある。 ・プライバシーに関する会話は他の利用者様が居る中では、聞き取りが十分にできない場合がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
(総括) 以前の暮らしについて10個以上把握するには時間がかかるが、利用者様の過去を探り、職員全員が利用者様に寄り添い、小さな情報も共有することができた。 (目標) 些細な変化や言葉から情報収集、共有し、一人一人利用者様の生活の質を高める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 12月 16日 (16:30～ 17:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	(袖澗代表、袖澗ホーム長、野中) 橋本、尾崎、安田、宮崎、井崎、東山、是恒、橋下 重松、桑津留、矢野、大坪、上羽

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	12人			13人

前回の改善計画	
自宅内の環境にも少し目を向け、そこから得られる情報から本人様の暮らしを知ることができる。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・運営推進会議のメンバー様からの情報を確認。市報や回覧板を通して確認した。 ・近所の方への挨拶、声掛けを意識し実施した。 ・大悟法麩の家に事業所のパンフレットを設置した。	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	3人	8人	2人		13人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	5人	7人	1人		13人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	1人	10人	1人	1人	13人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	2人	8人	1人	2人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者様がそれぞれ生活している地区、近隣の方との関係が保たれていることは会話の中から理解した。 ・利用者様の自宅カレンダーやメモを確認しその方の予定を把握した。 ・通い以外の時間帯に自宅での暮らしを会話の中から聞き取り、情報を共有した。 ・利用者様の個人ファイルを通じて、日々の生活状況や生活歴を把握し理解に努めた。 ・利用者様、家族様との関係が円満であるようにと考えながら接した。 ・地域の調剤薬局の活用、週一体操への参加、小学生、こども園園児との交流も少しづつ増えてきた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・すべての利用者様のことは把握できていない。また、地域に対しての知識がなく、地域の資源の把握ができていない。 ・利用日でない利用者様の状況を、会話の中から聞き取るが、正確な情報を得ることが難しい。 ・家族が同居していなければ、生活状況を知ってもらえる方法が連絡帳に限られるため、関係性の薄さから難しい。 ・一部の利用者様は以前の暮らしについて、覚えていないことが多く暮らしぶりは憶測になってしまう。また、ほとんどの利用者様の方は、以前のことを本人様からはそこまで話さない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
(総括) 世代間の交流を通して、地域との繋がりを広げることができた。家族様ができること、事業所ができることを利用開始前に確認、家族様と事業所と、一緒に協力しながら在宅生活を続けられるようにサービス提供してきた。 (目標) 利用者様や家族様の会話の中から、以前の暮らしぶりを聞き出し共有する。 地域との関係が切れないう、地域イベントへ参加する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 12月 16日 (16:30～ 17:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	(袖淵代表、袖淵ホーム長、野中) 橋本、尾崎、安田、宮崎、井崎、東山、是恒、橋下、重松 桑津留、矢野、大坪、上羽

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	8人	5人			13人

前回の改善計画	小規模多機能の特性である必要な時に必要な支援ができる事業所を引き続き目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果	体調変化時には小規模多機能ならではの臨機応変に柔軟に対応した。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようせず、地域の資源を使って支援していますか？	4人	6人	2人	1人	13人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	9人	4人			13人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	10人	3人			13人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	10人	3人			13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・事業所だけでは対応できない時は、他事業所と連携し支援してきた。サービス調整が急遽必要になった場合には早急に対応し安心感を与えた。 ・個々の環境や変化に気づき朝礼、終礼、申し送りノートに記載し、職員と共有することができた。 ・小規模多機能の特性を生かし必要な時には必要な支援が臨機応変に対応できた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・自宅環境や地域資源については十分に把握できていない。 ・一人一人変化について、観察しているが視点が違って気づきが遅く感じることもある。 ・急遽サービス変更になった場合、スタッフへの伝達が不十分な場合がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
(総括) 突発的な依頼にも柔軟に対応することができた。また、利用者様の変化にいち早く気づけるよう共有、連携を図った。急遽サービス変更になった場合、職員への情報伝達が不十分な場合もあった。 (目標) 本人の状態・ニーズに合わせた柔軟な対応、支援をさらに強化する。 急遽変更時には利用予定表、白板へ記入し周知を図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 12月 16日 (16:30～ 17:30)

6. 連携・協働

メンバー (袖淵代表、袖淵ホーム長、野中)
橋本、尾崎、安田、宮崎、井崎、東山、是恒、橋下
重松、桑津留、矢野、大坪、上羽

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	5人	2人		13人

前回の改善計画	
地域行事やイベントについての内容を確認し、一つでも多く参加する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・運営推進会議メンバー様からの情報提供、SNS、回覧板からイベントを確認した。	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	5人	4人	4人		13人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	5人	5人	1人	2人	13人
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	4人	7人	1人	1人	13人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	6人	7人			13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・病院退院カンファレンスやサービス担当者会議では、他の事業所との連携を図った。また、利用者様の体調変化時には主治医、訪問看護ステーションと連携を図り、協働した。 ・週一体操への参加を再開し、地区の溝掃除、高校バレーボールインターハイへの応援、市報や広告、SNSを通じて参加できるイベント行事を選択し、参加した。また、小学生、こども園園児を通じて世代間の交流を実施した。 ・地域で開催される会議は、会議録を通じて内容を確認した。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・活動やイベントを把握しておらず参加できていない。 ・町内会の行事、外部会議への参加はできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
(総括) 地域の社会資源把握には十分ではないが、参加できそうな地域行事には参加し、地域ごとの特性を知ることができた。外部の会議には参加不十分なスタッフも多いが、事業所として参加することができた。参加した内容を職員へ伝え共有した。 (目標) 地域行事、イベントに参加し、地域の特性を確認、地域の方々と関係を築く。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 12月 16日 (16:30～ 17:30)
7. 運営	メンバー	(袖潤代表、袖潤ホーム長、野中) 橋本、尾崎、安田、宮崎、井崎、東山、是恒、橋下、重松 桑津留、矢野、大坪、上羽

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	7人	6人			13人

前回の改善計画	施設全体が運営に関して意見を言える雰囲気を作り、出てきた意見から業務改善を検討、必要な件から改善していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員が意見を言える雰囲気を作った。出てきた意見から業務改善を検討、必要な件取り組んだ。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	5人	7人	1人		13人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	10人	3人			13人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	9人	4人			13人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	5人	6人	1人	1人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・小さなことでも意見を言える雰囲気と言いやすく、前向きに検討してもらえた。施設の雰囲気もよい。 ・利用者様からの苦情に対して、職員と共有し対策を立て対応した。 ・苦情があった場合、スタッフ会議で改善策を話し合い、共有した。 ・業務の中で感じた違和感や疑問点はその都度聞くようにしている。 ・地域の人と会えば、こちらから挨拶するよう心掛けている。 ・運営推進会議を通して地域の方との意見交換や情報の共有を図り、会議で出た意見や情報を職員間で共有した。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域との交流がなく地域と協働できていない。また、どのようなことが地域と協働した取り組みなのかわからない。 ・その日の業務が重なり関わっていない。 ・施設全体の把握が、まだ十分にできていないと思っているため考えが及ばない。 ・言われたことを実行に移すことが多く、自分の意見を言うことは少なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
(総括) 利用者様や家族様からの意見、苦情があれば真摯に受け止めた。 事業所として運営に関する意見を言える雰囲気を作り小さなことから改善に取り組んだ。 (目標) 利用者様、ご家族様へ顧客満足度アンケートを実施する。運営推進会議のメンバー様からの意見を運営に反映する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 12月 16日 (16:30～ 17:30)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	(袖淵代表、袖淵ホーム長、野中) 橋本、尾崎、安田、宮崎、井崎、東山、是恒、橋下、重松 桑津留、矢野、大坪、上羽

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	7人	6人			13人

前回の改善計画	研修の案内を職員が見やすい位置に張り出し個々で確認を行う。 気付きを大切に小さなヒヤリ・ハットでも出し合い、職員全員が把握できるようスタッフ会議で報告、回覧できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・研修の案内を見やすい位置に張り出した。 ・一年間の施設内研修計画を立て、外部講師も招きながら月一回開催した。 ・職員へ自己目標・研修計画シートを配布した。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	6人	5人	1人	1人	13人
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3人	6人	1人	3人	13人
③ 地域連絡会に参加していますか	5人	4人	1人	3人	13人
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	5人	8人			13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ヒヤリハット報告を共有し、事故が発生しないようリスクマネジメントに取り組んだ。 ・常に事故が起きると考えながら行動している。小さな変化にも気づき、見落としがないように支援した。 ・リスク管理を考えヒヤリハットや事故報告についても、緊急会議やスタッフ会議を通じて職員間で共有できている。また、日々観察を行い、事故を起こさない様に環境整備を行った。 ・研修で得たことを報告し、施設内研修へは参加している。また、研修やZoom研修に参加し、新しい情報を得られるよう努力した。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域連会に開催を知らないため、連絡会へは参加していないが申し送りは行っている。 ・気づきがあっても、ヒヤリハットを書くことが後になり忘れてしまう。 ・外部研修等は掲示されているが日時が合わず参加できていない。 ・施設内研修のみの参加となった。自己都合を優先してしまうことが多かった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
(総括) リスクマネジメントについて、事故発生時には状況に応じ、緊急会議を開催、再発防止に取り組んだ。 地域連絡会へは個人としてではなく、事業所として参加した。 外部研修内容を掲示しているが、参加者が少ない。 (目標) ・ヒヤッとしたこと、ハットしたことは必ず、記録し分析、対策を考え事故を防ぐ。 ・一人一人が外部研修の情報を収集し、外部研修に参加する意識を持つ。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 12月 16日 (16:30～ 17:30)
9. 人権・プライバシー	メンバー	(袖淵代表、袖淵ホーム長、野中) 橋本、尾崎、安田、宮崎、井崎、東山、是恒、橋下 重松、桑津留、矢野、大坪、上羽

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	10人	3人			13人

前回の改善計画	介護の振り返りを行い虐待や不適切なケアを行っていないか点検する機会を持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果	・身体拘束・権利擁護の研修し意識づけをした。 ・ミーティングや申し送りを行うときは利用者様から距離を取った場所で行った。 ・スタッフ会議では、利用者様の名前をイニシャルに変え、個人が特定できないよう配慮した。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	12人	1人			13人
②	虐待は行われていない	12人	1人			13人
③	プライバシーが守られている	9人	4人			13人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	7人	5人		1人	13人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	11人	2人			13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ストレスがたまった時こそ振り返ることができた。 ・相手の気持ちを考えながら、プライバシーを守り声かけした。虐待や不適切なケアに繋がらないよう注意した。 ・日々の介護の中で不適切な態度、表情をしていないか自問自答しながら支援した。自分や家族がされて嫌な介護は絶対しないよう心掛けた。 ・リスク管理を常に気を付け、個人情報について細心の注意を払った。 ・利用者様の意見を聞き、個人個人の介護を実施した。 ・不適切なケアを行っていないと思っているが、職員同士で気づきがあれば声を掛けした。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者との距離感が近くなると馴れ馴れしい言葉使いになってしまう。また、気軽に話しかけられるとつい同じ反応をしてしまう。 ・「待って！」等、強い口調で声をかけ、拘束してしまう。 ・利用者の情報、職員同士で話していると他の利用者に聞こえていることがあるため注意が必要。 ・報告や相談時に声が大きくなり、他の利用者様に聞こえてしまう。時々、スピーチロックしてします。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
(総括) 利用者様との距離感が近くなると馴れ馴れしい言葉使いになってしまうことや業務が集中するときには「ちょっと待って!」「座ってて!」などの言葉で拘束してしまうこともあるが、基本的に優しい声掛けで対応できていると思う。 (目標) もし自分なら、こうして欲しい。こんな声かけはして欲しくない。との思いを常に持って対応する。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社サンライズ コーポレーション	代表者	袖潤 大地	法人・ 事業所 の特徴	大悟法地区の地域に根差した施設を目指しています。 施設は家庭的で明るい、自由な雰囲気心を掛けています。また、お一人お一人の心身の状況とニーズの応え、多機能性を活用しそれぞれの個別プランで在宅生活を支援しています。
事業所名	小規模多機能ホーム だいごぼう	管理者	橋本 潤士		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	3人	1人	1人	1人	0人	3人	0人	11人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自宅での生活を継続できるよう、柔軟な個別サービスを行うために、本人の能力を再確認する。	気づいた事や本人ができることを確認、職員と共有し、臨機応変に対応した。概ね計画通り実施することができた。	職員一人一人が、利用者様の尊厳を守り、大切にされていることが伝わりました。	それぞれの自己評価での改善点について話し合い、意見交換し良いサービスに繋げる。
B. 事業所のしつらえ・環境	施設の案内を地域の公民館・コミュニティセンター等への掲示をする。	だいごぼう憩の家にはパンフレット、コミュニティーセンターにはだいごぼう通信を掲示、SNS、地震体験車を通じて施設のことを伝えた。	とても良い取り組みだと思います。地域交流会の地震体験車について、地域の放送機器を使い大悟法地区へ知らせることも良いと思います。	施設のことを地域へ発信しつつ施設内で快適な居場所と居心地の良い事業所作りを意識する。
C. 事業所と地域のかかわり	利用者様の状況に応じて、その地域の民生委員や近隣住民とも連携を図っていく。	こども園園児との交流、地域で開催されるお祭りの手伝いなど地域との繋がりをつくった。 また、道路で座り込んでいる方を保護し、命を助けた。	地域で助けが必要な方がいれば、情報共有していきたい。	利用の有無に関わらず近隣の方の介護の相談などができる事業所を目指していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	市報だけでなく、運営推進会議メンバー様にイベントの開催や地域での行事のパイプ役となってもらえるよう協力を依頼する。	季節ごと開催される地域行事内容を意識し、市報や地区の方からの声かけで地域行事やイベント情報を集め、行事参加することで利用者様が参加し楽しむことができた。	地域のお祭りに参加してとても喜ばれている利用者をみた。地域住民から見てうれしかった。	地域行事の参加を行いながら、地域に出向いて、楽しく活動する機会を増やす。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議の最後「その他」の時間で、地域の中で心配な方や困っている方はいないのか、会議の中で確認、相談していく。	だいごぼうの利用者様だけでなく、地域で困っている方がいないか、運営推進会議にて話し合った。また、運営推進会議にて、事業所の情報や運営について情報を発信した。	取り組みは良くわかりました。私たちも地域の情報を伝えたいと思う。	運営推進会議で出た意見を事業所会議に取り上げ改善に努める。
F. 事業所の防災・災害対策	地域で行われる防災訓練や地域訓練について、定期的に情報収集を行い、地域との連携を図る。	日中に火災避難訓練の計画を立て、利用者様と職員で行うことができた。地震体験車で実際に体験してもらい、地震について考えた。	災害が発生することを考えれば、どこまで備え、訓練しておけばいいのは難しい。	運営推進会議において、事業所がどのように地域の防災訓練に関わりができるのかを検討する。